

新学術領域研究「グローバル関係学」 若手研究者報告会 報告者募集のご案内 (Call for Papers)



日時：2018年2月3日(土)～4日(日)

午前10時～午後4時

場所：早稲田大学

早稲田キャンパス内11号館701号室（予定）

応募締切
2017年
12月31日

文科省科学研究補助金 新学術領域研究

「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立」

（略称「グローバル関係学」）は、平成28年度より、

千葉大学、東京外国語大学、立命館大学などの社会科学、人文科学の最先端の学者を結集し、「グローバル関係学」という新たな研究領域の確立を目指して研究を進めています。

「グローバル関係学」が問題視するのは、

現在、中東やアフリカ、アジアや南東欧など、世界各地での紛争、対立が、情報や思想・モノやカネ・人の移動のグローバル化などの影響を受け、複雑に絡み合うことによって、国際的な危機をもたらしていることです。

こうした現代的諸問題が示すのは、20世紀までの主権国家とそれを軸とした国際社会という近代社会科学的「常識」が崩壊し、社会の安定と発展を確保してきた諸制度が機能不全に陥っているという、危機的な事実です。しかし、こうした「新しい危機」ともいえる事象について、分野横断的な包括的視座をもって分析した研究は、いまだ存在しません。

危機に瀕している現代のグローバル社会の問題を読み解くには、主体そのものを分析の対象とするだけではなく、主体内部の関係性や、さまざまなレベル、規模の主体が相互に関係しあう、その関係性の変化と相互連関性を見ていくことが、必要です。

「グローバル関係学」は、さまざまな関係性に光を当てた研究を、狭い範囲の共同体からグローバルなネットワークまで、幅広く行い、諸学問の壁を壊し、現実の危機にキャッチアップできる、新しい学問領域を構築することにほかなりません。

「グローバル関係学」事業では同種の問題意識、研究方向性を持つ若手の研究者の協力を、

社会科学、人文科学、自然科学の分野を問わず、

幅広く求めており、以下の日程で、

「グローバル関係学若手研究者報告会」を開催いたします。

日時：2018年2月3日(土)・4日(日) 午前10時～午後4時

場所：早稲田大学キャンパス内11号館701号室（予定）

※報告会で報告を希望する方は、**2017年12月31日迄**に、

①報告題・②500～800字での報告要旨、

③報告者氏名・所属・肩書・開催日時点での年齢を記載の上、

<https://ws.formzu.net/fgen/S79652840/> からお申込みください。

※応募者は、**45歳以下**であること、及び「グローバル関係学」の学問的趣旨を理解しその学術領域確立に貢献しうるとみなされる者として。

「グローバル関係学」 <http://www.shd.chiba-u.jp/glbcrss/outline/index.html>

※報告者に関しては委員会にて選考の上、**2018年1月12日（金）まで**にご登録いただいたメールアドレス宛に選考結果をお伝えいたします。

※地方からの報告者へは交通費などを負担いたします。

